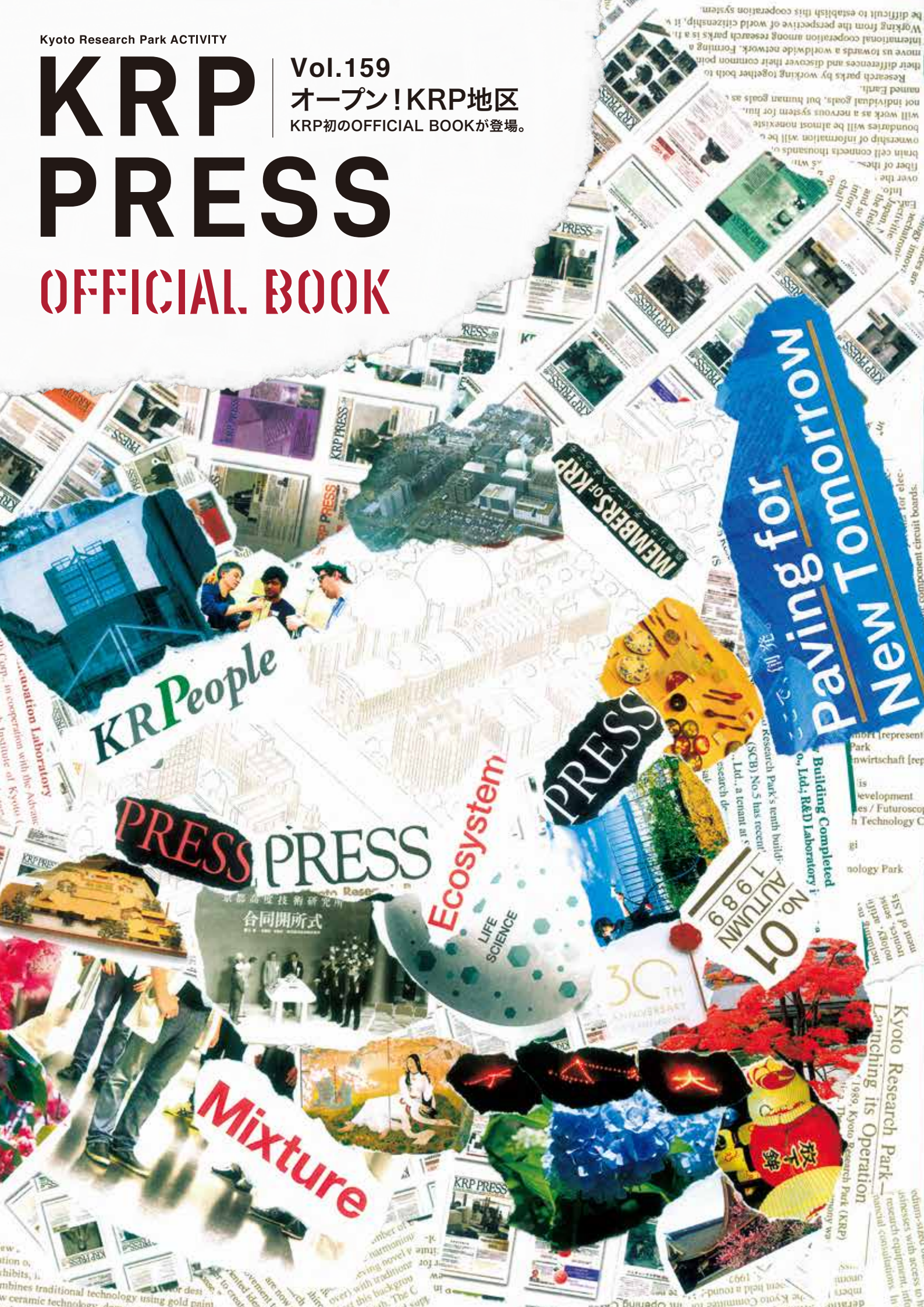


KRP PRESS OFFICIAL BOOK

Vol.159

オープン!KRP地区
KRP初のOFFICIAL BOOKが登場。



Paving for Tomorrow
New Tomorrow

KR People

PRESS PRESS

Ecosystem
LIFE SCIENCE

Mixture

No. 01
AUTUMN
1989

Kyoto Research Park -
Launching its Operation

MEMBERS of KRP

...ation Laboratory
... cooperation with the Advanced
... Institute of Kyoto

Building Completed
... Ltd.; R&D Laboratory
... Research Park's tenth buildi-
... (SCB) No.5 has recent-
... Ltd., a tenant at s

... (represent
... Park
... ntschaft [rep
... is
... evelopment
... es / Futuroscop
... n Technology C
... gi
... nology Park

... sst f... to test
... sst f... scien
... sst f... glob
... sst f... glob
... sst f... glob

... 1989, Kyoto Research Park (KRP)
... 1989, Kyoto Research Park (KRP)
... 1989, Kyoto Research Park (KRP)
... 1989, Kyoto Research Park (KRP)

... 1997
... 1997
... 1997
... 1997

“創発”と人間が持つ共感や直観、 イメージーションとの関わり

KRP's 30th Anniversary Symposium



社会や自然の複雑さに対応することで、
人の脳は3倍に

竹内薫氏(以下、竹内)：こんにちは。パネラーのみさんから、実際に経験された「創発の瞬間」について具体的な例を交えてうかがい、それについて全員で討論していきたいと思っております。ではさっそくですが、山極先生いかがでしょうか。

山極壽一氏(以下、山極)：山極です。人類の進化は、チンパンジーとの共通祖先から分かれてから、700万年経っています。その700万年の中で一番大きな「創造の爆発」と呼べるものは、認知革命。すなわち「言葉」の登場だと思えます。言葉をしゃべり始めたことにより、我々はさまざまなことを創造できるようになった。みなさんあまりご存知ないと思いますが、言葉の登場は、人間の脳を大きくした原因ではありません。それよりもずっと以前に、人間の脳は現代の大きさになっているんです。

ゴリラの脳は人間の3分の1しかありません。200万年前まで、(人間の脳は)ゴリラの脳の大きさの500cc以下だったんです。ところが200万年前から徐々に大きくなり始めて、40万年前に500ccから現在の1400ccに到達しています。だから脳を大きくしてから、のちに言葉が出てきた。言葉は結果であって、原因ではないんです。

脳を大きくした原因は、「共感力」の高まりです。その共感力は何によって得られたかという点、人々との付き合いです。仲間の数を増やしたことで、その社会的な複雑さが高まったことにより、脳容量を増す必要があった。おそらく人間は、そのときに仲間の心を読むだけではなくて、いろんな自然界の出来事を共感力によって、読み解くという能力を手に入れたのだでしょう。それを、言葉の登場によって一気に花開かせた。

言葉で表現できているのは、
五感のうち2つに過ぎない

山極：人間の創造力は言葉によって表現されなければ、まだ限界があると思っています。言葉は、人間の五感である視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のうち、視覚と聴覚だけを拡大したものです。匂いや味覚や触覚は、言葉で表現することがなかなかできていない。今我々が世界を解釈している力は、言葉によって視覚・聴覚の世界を拡大したものに過ぎません。潜在力はまだまだたくさんある。それはなぜかと言うと、人間は猿や類人猿、ゴリラ、チンパンジーと同じ能力を持って今に至っているわけで、魚や鳥のほうが豊かな世界を持っているとも言える。鳥は4色型色覚で、魚はもっと多様なのに、人間は3色型です。鳥や魚が見ているものよりも、見える範囲が狭いわけです。言葉を使いながらそれを拡大したのが、現代の科学のあり方。我々はまだそこに創発のチャンスをとめているわけです。これからその感覚を拡大し、さらに猿の能力を脱して、



KRP地区開設30年記念シンポジウム

「創発の瞬間」

KRP's 30th Anniversary Symposium

2019年10月29日、全国初の民間リサーチパークとして1989年に誕生した京都市リサーチパーク地区の開設30年を記念し、KRP地区開設30年記念行事を開催しました。

今回は、記念シンポジウム「創発の瞬間」の模様をお届けいたします。

経済や社会に価値を生み出し、革新をもたらす“創発”の瞬間とは、どのようなものなのか。

ゴリラ研究の第一人者で京大総長の山極氏、日本を代表する禅の大本山、妙心寺退蔵院の副住職である松山氏、新業を2つも世に送り出した実業家の久能氏、世界最大級のデジタルコンテンツ企業の日本法人を率いる島本氏が登壇。

多様な分野の先駆者たちが集うパネルディスカッションを通して、その正体に迫ります。

スピーカー

京都大学総長 山極壽一氏 / 妙心寺退蔵院 副住職 松山大耕氏 / 株式会社フェニクス共同創業者 S&R財団理事長兼CEO ハルシオン創設者兼議長 京都大学総長学事補佐・経営管理大学院特命教授 久能祐子氏 / ゲッティイメージズ ジャパン株式会社 代表取締役 Getty Images Vice President 島本久美子氏

モデレーター

サイエンス作家 YES International School 校長 竹内薫氏

他の動物の可能性を取り込んで創発の機会を増やさなくてはならないと思っています。

仏教の世界の「創発」の先駆者たち

竹内：今「共感力」というお話が出てきて、非常に興味深かったんですが、まずはバネラーのみなさんからお話をうかがい、その後(討論)「戻りたい」と思います。松山さんはいかがでしょう。

松山大耕氏(以下、松山)：仏教の世界でも、創発は昔からあります。例えば空海さんですね。仏教・密教を極められたこともありましたが、日本人のデフォルトを作ったのが空海さんだったと思います。例えば温泉を掘るとか、土木工事をしてため池を作るとか、巡礼の道を作るとか。仏教を通していろんなものを作ってきたというのが、一つの創発ではないかと思えます。

退蔵院の例で考えてみても、400年ぶりに、ふすまを新しく描くプロジェクトをやっていますし、今はお寺で訪問看護サービスをやろうと思っ
ています。今まではお墓をお守りし、おつとめをして安心を提供していたわけですが、むしろ今は檀家に行っているんな話を聞いている。この間もタクシーの運転手さんに、墓じまいの相談をされましたが(笑)、私たちが今まで提供してきたものが、むしろ不安や負担になっている状況です。そうではなくて、私たちがやるべきことは、「安心を与える」ことです。今の時代を考えると、終末期に私たちがそういった安心を提供できるのではないかと思えます。

もし自分がその立場だったらどうするか?

松山：冒頭のKRP(株)小川社長の挨拶で、「必要は発明の母である」というお話がありました。ずっと檀家を回って、「必要だな」と思うことをやるのはもちろんですが、そのためには、山極先生もおっしゃったように、共感力は本当に

重要です。私たちの世界で言うと「慈悲・慈愛」という言葉ですが、「もし自分がその立場だったらどうするんだ?」と。常にそういう気持ちでいるのは大事なことです。

もう一つ、「偶然」は発明の父であるというお話がありました。偶然というのは、実は偶然ではない。みんな平等にチャンスがあると思えますが、それを認知する力は重要ですね。

先日ジム・ロジャースさんという世界三大投資家のお人と、堀場製作所の堀場厚会長と私とで対談をした際、「あなたにとつての一番の先生は?」という質問があり、ジムさんは、「幼少期の貧困と恐怖が番の先生」とおっしゃった。私は納得がいかなくて、(対談が)終わってから「貧困と恐怖におのっている人は世界中にいます。あなたと、ほかのひとの、番の違いは何ですか」と質問しました。

チャンスや良いものを「見抜く力」

松山：ジムさんは「Perceptibility」「つまり「直感」とおっしゃった。「直感」は偶然の要素が強い。



この感覚を大学院の先生たちにいろいろと聞いてみますと、それは「self-efficacy(自己効力感)」だ。「やらないのにやる感覚」があるそうなんです。

ですから、私たちは、若い人たちに「この感覚が来たときに大事にしてください」と言っています。起業すること自体は、決してゴールではなく、ツールである。見えていないときに飛んでも、成功する確率はかなり低いわけです。ですから、そういう「見えている感覚」、self-efficacyを大事にしてほしい、とよく言っております。

それからもう一つ、お二人ともすでに「偶然」というお言葉をおっしゃっていますけれど、これは「serendipity(思わぬものを偶然に見出す才能)」と違って、あとから考えると「あの偶然があったら今の自分はいないのかな」「今の結果はない」という感じのことです。

2つのキーワードとしては、先ほど言った「根拠のない自信」と申しますが、self-efficacyと「見えている感覚」と、もう一つはserendipity。serendipityを認知する感覚。その2つが創発の瞬間と言えないかと思えます。

物語を作るのがうまい人ほど認知力がある?

竹内：ありがとうございました。キーワードがいくつか出てきました。島本さん、ごまでの議論についてはいかがでしょうか。

島本久美子氏(以下、島本)：非常に興味深いお話が多くて、質問がいっぱい思い浮かぶのですが(笑)。一つは、何度か出ている「認知力」。これをどうすれば身に付けられるのか。もしそのあたりのことでヒントがあれば、おっかがしいと思います。

竹内：山極先生、いかがですか。

だから「これが本物」「これが大事」という力が、自分はずば抜けていたと。

でも、「これはチャンスだ」とか「この人はすごい人だ」とものを見抜く力は、果たしてそういう人たちをすつと見ていたら醸成されるのか(笑)。それはどうかと思うんです。しかしそういう「見抜く力」があるかどうかは、創発にとつても重要なことだと思っただけです。

お寺や日本の文化で言うと、「守破離」という言葉が重要だと思います。「守」は、型を「守る」とことです。自分自身の分野を極めると。そして創発の瞬間は「破」だ。「破る」ということです。これが「ほかの分野の流の人と出会う」ところが重要です。そこで刺激を受けて、そこから「離れて」いく。自分のinnovationを起こしていく。

ここから、10倍が成立した社会を想像する力

竹内：ありがとうございました。共通のキーワードが見えてきた気がするんですが、それでは続きまして久能さん、いかがでしょうか。

久能祐子氏(以下、久能)：普段はアメリカカウシントンにいます。久能祐子と申します。よろしくお願ひいたします。

私自身はいわゆるベテランクリサーチ、サイエンスからスタートしたので、比較的、創発、何か新しいものができる、ときに測定しやすい分野にありました。

いろんな実験を組んで「これに活性はないだろう」と思っているときに出たり、あるいは「これは20パーセントぐらい良くなるはずだ」と思うときに、3倍、4倍になったりする。それは基本的に、やはり創発の瞬間なんです。ですから、非常にわかりやすいといえはわかりやすいといえます。

私はビジネスコースにも、インキュベーターにも行ったわけではありませんが、けれども、バイオテックの会社を2つ作り、新薬を2つ作られたのは、



山極：言葉は「知らないものを作り出す装置」だと思っただけです。言葉はしゃべらない時代は、たぶんそれをわかっていない、あるいは「この中に何か知らないことがある」とに気付けなかった。でも、言葉をしゃべることによって、世界を切り取って、分類して見るようになる。「これは知らない」と整理して、わかるようになったということですね。人間は言葉によって物語を作ること、現実と切り離して考えることができるようになった。それを作るのがうまい人ほど、たぶん認知力があるんだと思っただけです。違うかな(笑)。

竹内：「物語」というのは非常におもしろいですが、作家は基本的に物語を作りし、映画監督も作りし、ね。実は創発の瞬間にもそういった物語性は大事ということになりますか? 久能さん、いかがでしょうか。

久能：ナラティブと呼んでいますが、ストーリー性は「見えている」感が来るときには非常に重

「10x(テンエックス)・10倍の成果が出るように考える」の世界をわりと早く見たことがあるかと思っただけです。

実際に10xみたいなものを見てしまうと、あるいはそれが最後までいったときにどういうインパクトやinnovationとして社会に受け入れられるかを、想像する力。イマジネーションが非常に大事です。

innovationの「違」

久能：私も最近ようやく、振り返っているんことを考えるようになりました。「Invention(発明)」と「Innovation(革新)」は違う、と考えています。Inventionは「わかるシーズで、1人がわかればいい」ということです。反対に言うと、1人しかわかっていない状態。

私の通っていた京都大学では、要は「誰もやっていないことをやりましょう」というのが学校の風土としてありました。ですから、とにかく誰もやっていないことをやるんだ、1が12になるような話はしない、とか(笑)。今から考えれば、何倍になるのを見るということが、自然のエコシステムとしてあったのかと思っただけです。



要です。ただ認知する力は保たれているわけではなく、「上が下がり下がりしている」と感じることがあります。私は認知力をわざと下げるときもあります。

right thing/right time/right place(正しいこと/正しい時間/正しい場所)ではなく、どうぶつによく言われるんですが、自分で「right time」でもなければ「right place」でもない、と思うときもあるんですね。そういう状態は、私の人生の中では相当ありました(笑)。

すごい発見をする人たちの共通点は何か

竹内：松山さんはいかがでしょう。

松山：基本的に、山極先生がいつもおっしゃっている「オモロイことをやる」という(笑)。その気持ちを常に持っているのは、すごく大事なことなんです。

もう一つは……京都賞の授賞式に行ったときに、受賞された先生が「すごい発見をする人たちの共通点は何か」といつ、考える時間がたくさんあるときが人生にはある」とおっしゃっていた。常に頭がいっぱいの状態ではそうならないかもしれない。

「自分の頭が」番元気なときに考えろ」

竹内：ニュートンもそうですね。「プリンキピア」を書いたときに、たまたま黒死病が流行って大学が閉鎖されて故郷に帰り、じーっと考えていたら重力を発見した。

山極：今年1月に亡くなった梅原猛先生は、以前、1日の過ごし方を「午前中は絶対、本を読んだらいいかん」とここの道を歩いている、「考えるんだ」と。考えて、考え抜くんだ」と。それで、疲れたら午後は本を読んで過ぐすんだ、とおっしゃっていました。

ですから、本当に考える時間が大事で、「自分の頭が」番元気なときに考えろ」と。「知識はとに

かく、疲れていても頭に入るからいいんだ」という
お考えでしたな笑。

学問・起業・宗教の世界において、 創発のきっかけとなった体験

KRP's 30th Anniversary Symposium



わからない状態のモヤモヤに耐える
時間を経て

久能：「考えることについて、私からも一言。私
たち起業家は相当暇なときがあるんです。お金
がないとできない仕事なので（お金が集まってい
ないときはほとんど何もすることがない）笑）。
寝て待つ状況のときは、考えているわけです。」

「わからない状態に耐える」という感覚が、例え
ばあるときは3ヶ月、あるときは6ヶ月。もしか
したら1年続くわけです。」

「もう結論が出ないな」と思いつく、少し寝かせてお
くときがあります。そうすると成熟してくると
いつか、ある日突然、夜中の3時に「降りてき
た」と感じることもあるんです。」

ですから今、若い方たちにおすすめているのは
いかに「暇な時間」を作るか。考える自由がある
ことが、もしかしら創発というか、innovation
なり inventionには非常に重要で、私たちの若い
ときには、たまたまそういうことが許されていた
のかなと。

「safeな場所」とよく言うんですけど、安全な
場所、安全だと思つて考える。safety/usable
は違う、と最近ちょっと気が付きました。安定し
ているところでは、たぶん新しい考えが出てこな
い。だから「安全だけれども揺らいでいる」という
ところが一番、そういうのが出てくるのかなと思
いますね。」

安易に答えを教えると、
なんにも残らないから教えない

松山：「今先生がおっしゃった「ほっとく」というか、
「寝かせておく」のは重要だと思います。まさに
禅問答がそうです。禅問答って、答えは絶対に
教えてもらえないんです。」

答えを教える「ふん」ってなるからです。なに
も残らない。わからなくても、そこを引っ張って
いくとある日突然「ふん」と出るわけです。」

そういう意味では、ふだん感じているのに、意識
できなかったところがすくあらわになってくる。

そういうものが本当の人間の感性に通じるので
はないかという気がします。

突然自分の行くべき道が見えてくる

竹内：久能さんがおっしゃる「怖くない」とか「見
えている感覚」を、もう少し教えていただけますか。

久能：「なかなかシエアしにくい感覚かという気は
するんです（笑）。ふもとから山の上を見ている
感覚で、いつもは見えていないわけです。ふもとに
はいるけれども、見えなくてモヤモヤしたまま寝
たり起きたりしている状態。」

それがあある日突然、夜中の3時ぐらいに「これ
じゃないか？」と、ヒントが合う感じで山が見え
てくる。山というのは比喩で、自分の行くべき道
とか、行ける場所が見えてくるんです。」

その繰り返しで最後まで行けることがよくあり
ます。行けないときはもともと hypothesis（仮
説）が違つて、山は見えたかのようにだけれども、本
来的には幻だったと思つて、さっさとふもとに降
りてまた違うことをやるといふ感じですよ（笑）。

innovation/innovation
多様性が重要であるわけ

竹内：学問や起業の世界、そして宗教の世界で、
創発の瞬間とは、人間の心理の中で共通の部分
があります。これは非常におもしろい。

ここから少しテーマを変えまして、島本さんから
映像を提供していただいて、「多様性」というテー
マで考えてみたいと思います。創発には「体どうい
うものが必要なのか。」

島本久美子氏（以下、島本）：「Gettyイメージ
ズは、広告やメディアに報道写真や広告で使う
イメージ写真などを、世界で最も多く提供して

もう1つ言うと、「考えなくてもいい時間」。私た
ちの、掃除の時間ですが、手を動かしていたら
掃除はできる。実は、掃除をしていると同時に頭
の整理をしているんです。そうするうちにポンと
答えが出てきたり。そういう「考えられるだけ
れど考えなくてもいい時間」も、大事にしたほう
がいいと感じます。」

山極：私が若いころよく言われたのは、「いかに
馬鹿な問いをたくさん考えつくことができるか」。
馬鹿な問いであつても、問いを考えることから始
まるんです。」

京都には「哲学の道」があつて、西田幾多郎や京
都学派の四天王もあつて歩いて考えていたら
しい。「歩く」という行為は、実は考えるのに適し
ているんです。松山さんが「掃除をしながら」と
おっしゃったけれど、人間はまさに何かをしなが
ら考えを巡らすことができるわけです。そうい
う時間を持つのが重要だと思います。」

ずっと考え続けていると、
目の前に現れるもの

竹内：「ノーベル化学賞を受賞された吉野彰先生が、
年末の大掃除をしていたと。それでたまたま、ほ
たらかにしていた論文を積み上げていた。ちょ
と休憩して「一番上の論文をたまたま手に取つた。
すると、そこにコハルト酸リチウムの論文があつ
て、「これが正極（プラス極）に使える材料じゃ
ん」と気付かれたというお話をされています。」

（思わぬものを偶然に発見する才能）と関係し
ている感じがします。」

山極：「科学者は、そういうものを、一生のうちに
何回か味わうことができる。それが至福の瞬間
だと言っています。それがノーベル賞につながつた
吉野先生の場合もあるだろうし、自分の考え方
ががらりと変わるような宗教的霊感が降つてく
ているか」が目されるようになった。」

この2015年の写真は、どちらかという働
いて活躍している女性。2017年にな
るとモデルがどうでもよくなって笑。結局、何
をしているかがメインになるんです。」

それが2018年からは多様性がトレンドに
なつてきて、このモデルは年齢も高い、ラテン系の
女性。それで筋肉がムキムキという、多様なもの
を表現している女性です。これが2018年の
ベストセラーになったんです。」

なかなか売れなかつた、
LGBTQの写真素材

島本：次の写真は、2007年に「お父さん」で
一番よく売れた写真注：父親と息子が庭でラグ
ビーボールを取り合う写真。12年前はまだ、お父
さんが息子と庭で球技をやつた。

こういう写真が、最近はこの写真注：台所で父
親と娘がお菓子作りをしている様子。アジア人
の親子が一緒に料理をしている。これがベストセ
ラーになっているんですね。このように、実際の写
真を見ると、ニーズが変わつてきているのが、おわ
かりになると思います。」

非常にびびりしたのが、LGBTQを広告に
いつの段階で紹介していくか。Gettyイメージ
ズでも揃えていたんですが、やっぱりなかなか売
れないか」が目されるようになった。」



900217040 Westend61

る場合もあるだろうし。たぶん人間は、そういう
ものを出会いとして持つているのだと思いますね
竹内：島本さん、いかがでしょうか。何か、もしあり
ましたら。」

島本：「私の場合はどちらかというと、人のマネ
ジメントという面を考えているときに、久能さん
がおっしゃった「いかにsafe placeにするか」。safe
placeじゃないと、例えば安心して自分の意見が
言えない。その意見を言つてくれないと、いくら
ディスカッションしてももつと発展性がない。そ
ういった意味での safety/usableの違ひは共感
しました。」

この共感に関して、広告では、共感が得られるコ
ンテンツはどういうコンテンツなのか。感情移入
をどうしてしまふコンテンツやパワフルなビジュアルの
コンテンツをどうすれば集められるか。そういう
部分にも共通しているところがあるのかと
思つて聞かせていただきました。」

1週間寝ずに坐禅する
「無意識の意識」の修行

竹内：松山さんに質問があるのですが、「無意
識の意識」ということをおっしゃっていますか、ど
ういう意味なのですか？」

松山：「無意識の意識」は、私が修行中に師匠
に言われたことです。12月1日から12月8日の
1週間、寝ずに坐禅する一番厳しい修行があつて、
「何のためにやるんですか」と聞いたところ、「無
意識の意識」であると。」

ふだん生活していると、意識のレベルで自分を変
えることができるけれども、1週間寝ないと、こ
の意識のレベルが下がってくる。やる方はほとん
どいないと思いますが（笑）、起きていて寝てい
るかもわからない。生きていて死んでいるかも
わからない。そうすると、全身が無意識のレベル
になつてくるんです。」

れなかつた。
IKEAが、1995年にゲイのカップルの広
告を出して、それからあまり進んでこなかつたの
が、2018年、「家族」で最もよく売れた写真
のトップ10にこの写真が入つたんです。」

ゲイのカップルと赤ちゃんの家族写真です。これ
が「家族」写真のトップ10で上がつてきたので、社
内の的に「これはもう来た」と思い、ますます力
を入れていきます。」

障害のある人たちの「ふだん」を、写真に
島本：次に力を入れているのは、障害者の方の
写真。人口の2割の方はなにかの障害を持ってい
らっしゃるのですが、メディアや広告では、あまり
見ることがない。」

これも変えたいので、今は障害者の写真の
見直しをしています。いかに障害者を持っている
、車椅子の方というのはなく、人口の2割の方
が（なにかの障害を持って）いらっしゃることに気
が付いていない人が多いと思います。」

このように楽しんでビールを飲んでいるところ
（注：義足の男性たちがリビングで友人とビール
を楽しむ様子）などさりげないもの、リアルなも
のや働いている様子などに、力を入れています。
今後、日本においても多様なコンテンツが、広告
で徐々に使われるようになると思います。」



京都特有の地の利や、AI時代の生き方

KRP's 30th Anniversary Symposium



東京は緊密な関係を築くには大きすぎる
竹内：京都という町は、東京人である僕からすると、風変わった場所です。

感じる事ができるのか、どれだけ楽しい職場なのかということ。自分の能力を認めてくれることが重要で、昔みたいに会社への忠誠心を持って、半年間は研修に出て、会社のために尽くす技術をそこで磨くなどは、ほとんどの人が思っていない。
そういうものは外国人の学生から学んでいます。しかも海外に行って体験もしていますから、おそらく会社への期待や意識がずいぶん変わっているとあります。

竹内：例えばノーベル賞を受賞される方の多くは、時期は異なりますが、海外留学や海外での研究期間があつて。そこでの体験について、よく受賞の際に述べられます。海外から人を呼び込むと同時に、自分が海外に行くことも大切だと思われませんか？
山極：とくに自分の意思で海外に行くことが重要だと思っただけですね。既存のコースに乗って、語学留学に行つて、ある技術を身につけて単に帰るだけじゃなく、自分が「こういうことをやりたい」と思つて行って、たとえそれが裏切られたとしても、ある程度それをやり抜いて帰ってくる。ノーベル賞受賞者の山中さんにしても、大隅さんにしても、いろんな大学を渡り歩いているわけですね。そういう力強さみたいなものは、海外で身につくんじゃないかと思えます。
自己効力感が育まれる
きつかけになった体験

竹内：久能さんが海外に行かれたきつかけや海外での生活はいかがでしょう。

久能：私も片道留学だったんです。帰りの旅費がなくて、切符は1つしかない。私の先生が福井三郎先生という工学部の先生で、当時、私は1000人の学生のうち、6人の女子学生の

町がそんなに大きくないので、例えば京大で先生と学生が飲み会をすると、「終わつてから、みんな歩いて帰れる」「自転車帰れる」、あるいは「常に会話できる場所がある」と。いろんなところからいろんな人が来ている」という話もあつて、それは多様性だと思っただけです。
「東京は町が大きすぎて、そもそもそういう緊密な関係を築くのが意外と難しい」と。「時間が来ちゃうと、みんな「終電です」となつて帰らなくちゃいけない」。そういうことも、もしかしたら創発とも関係するのかなという気もします。
多様性や町の規模、いろんな要因が関係していると思ひますが、いかがでしょう。

久能：私は今、いかにして創発をファシリテートするかという仕事をしていて、ワシントンDCと京都の両方でそうした場を作っています。意外とその(町の)大きさが大事で、なおかつ非常空間も大事です。
歴史のある町だけれども、なぜかいろんな人が集まってくる。ワシントンも2キロメートル四方のところ、ほとんどすべての人に会えます。180ヶ国の大使館もある、いろんな人種の人にも会えます。シンクタンクはなんと380もあるんです(笑)。
政治家にも会える。ビジネスセクターもあるし、大学も非常に多い。京都もそういうところがあります。さまざまなセクターの方に、自転車で行くぐらいの近さで会える。これはserendipity(偶然)として非常に重要なこととされています。

Inclusion & diversityの違ひ
久能：それからdiversityに関しては、Invention(発明する行為)、0→1とか1→10という、今までなかったことを考えるときに、diversityが大事です。
なぜ大事かというところ、Diverseな人たちは、感知、



1人だったんです。
福井先生は、女子学生でなおかつ研究者になりたいと言っている人を教えたことがないので、ここで自分だけが見るのは不安だ、教えきれないと思われ、親しくされていたミューンヘン工大に席があるので、「行つたらどうだい」と行かせてくださった。
その1年がなかったら、私はたぶんこういう仕事はしていなかったと思っただけです。非常にUnusualなというか、非日常でした。もちろんストレスはありましたが、その小さなハードルを1つずつ越えていく感覚が、自己肯定感というか自己効力感につながったので。

前カリフォルニア州知事やGUCCOの社長も訪れた禅寺

竹内：非日常空間という禅の修行みたいなものも思い浮かびますが、いかがでしょう。

松山：そうですね。前のカリフォルニア州知事

感覚。いわゆる感じる力や認知力が違うわけですね。違う環境に関してそれぞれ認知するので、環境が非常に変わってきている今の時代、あるいは行き詰まってくる時代には、人間は自然といろんな人が来ることによつて、誰が成功してもいいという感覚になるんですね。
後発の人は、Diverseなグループの中のどこから成功してもいいという感覚を、自然と持つています。Innovationの中でも、最初の段階である、今日話している創発の部分に大事だと思われているので、それ(Diverse)を自然と人間は要求するし、そういうふうになっていると考へています。
Diverseは少し違い、例えばグローバルな問題を解決するためには、やはりグローバルバリエーションというものが重要です。Diverseのほうは、どちらかというところ、それぞれの人が別々に立っている感覚です。

例えば障害者の方たちのことを、ニューダイバーシティ(注：脳の多様性。違いを優劣ではなく個性と捉える考え方)やニューマイノリティと言いますよね。つまり、違う感覚を持った人、違う認知力を持った人が一緒に考えることが大事だという感覚です。
1000年に渡る
さまざまな発想がたくさん詰まった町

竹内：山極先生はいかがでしょう？

山極：京都の人口は147万人で、約1割が学生です。大学は、38校あつて、「京都は石を投げれば、学生が坊さんに当たる」という場所です。特に重要なのは、竹内さんがおっしゃつたように、飲み屋でいろんな人に会うわけです。1つの分野が完結しない。だから必ずいろんな職業の人たちと隣り合せて飲むことになる。ママもそれを知っていますから、「さっきの人はこういう人だよ」と裏話を教えてくれる。言うならば

(ジエリー・ブラウン氏)も、30代でカリフォルニアの州知事になり、それから政界を離れて鎌倉の禅寺に来るんです。(鎌倉で過ごされて、しばらくしてまた(アメリカに)戻つて、最近まで70代で2期目のカリフォルニア州知事をされてきました。
「日本の禅寺での生活が自分を変えた」とおっしゃっています。ステイブ・ジョブズ氏もご存知のとおり、そうですね。
GUCCOはフィレンツェに本社があり、京都がフィレンツェの姉妹都市なので、創業90周年のイベントを京都でされました。
ご招待いただいた行つたんですが、イタリア人の社長に「どこから来られましたか？」と聞かれて、「妙心寺から来ました」と言ったら、「自分は学生時代に妙心寺の宿坊に1ヶ月いたんだ」と。「そのときの禅的な感覚が自分の美的センスを研ぎ澄ませてくれた」「すごく感謝している」という話をしていたきました。私は今週、妙心寺と龍安寺で、禅ビタビタの1週間、この話をやっています。参加されると、感覚はずごく変わるみたいです。

竹内：海外から来られる方の禅の修行と、日本の学生さんとの比較と云いますか。日本人と海外の方で何か差があつたりしますか？

松山：日本の子たちは黙つて言われたことをします。海外の子たちはいちいち理由を聞きませね。どっちがいいかはわかりません。ケースバイケースです。

竹内：文化の差という感じですか。

松山：そうですね。それは大きく感じます。

現代人の脳が10パーセントも縮んだ理由

竹内：冒頭で山極先生がおっしゃっていたことで

馬鹿な発想ができるわけです。
それから、1000年の歴史の中の物が残っている。
この物というのは実は過去からのメッセージだと思つています。その物にまつわるさまざまなメッセージが伝えられる。その中に、現代では考えられない発想が潜り込んでいる。そうした置物や仏像を前にしながら、いろんな発想ができるんだと思ひますね。それが大きな強みです。

竹内：多様性がありつつ、空間的には狭いと。でも時間的には非常に広いという感じですか。
山極：奥行きがあります。それから、東京と違うのは、東京は終電がデイスカッションの終わりだけれど、京都は歩いて帰れますから、朝まで飲めるというのはあります。
(同笑)

自分の意志で海外に行くことで身に付くもの

竹内：山極先生に1つうかがいたいんですが、例えば日本の大学は、将来的な研究者を輩出する場所ですが、海外からの留学生を増やす多様性は現状どうでしょう？

山極：今は、留学生を増やそうとしています。京大の1割以上の学生が留学生だし、特に大学院は非常に多い。実は昨日も海外の研究者との懇談会をやつていたんですが、日本の学生も海外の学生との交流を通じて、グローバルな考え方や体験を身につけてはじめています。
例えば、会社に就職しても「生涯そこに終身雇用で雇われるなんて思っていないし、嫌なら辞めちゃえばいいし、転職すればいい。だから、今では3年以内に辞める新入社員が30パーセントぐらいいる」という話です。
彼らにとって問題なのは、生きがいをもつて

気になったのが、最初に人間の脳が大きくなり、言葉が入ってきた。さらに次はどのようなことになつていくのか。芸術や文化との関係。そのへんをもう少しお聞かせ願ひますか。

山極：これからAI優先のデジタル社会になっていくだろうと言われてますね。現代人は、1万2000年前に農耕・牧畜が始まった頃と比べると、脳が10パーセント縮んでいるという話があります。

脳容量が少なくなっている。つまり、それは脳に貯めておくデータをみんな外に出したんです。データベースにしていますから。頭の中に入れる必要がなくなつていく。

記憶だけならいいけれど、先ほどから話題にしている考える力も外出しにしている可能性があるんです。これからは自分が選ぶのではなく、AIが選んでくれて、ボタンを押すだけになるかもしれない。それはちょっと危ないなと思つています。
島本さんの話にもあつたけど、自分で生活空間



Panelist profile パネリストプロフィール



山極壽一氏

京都大学総長

1952年、東京都生まれ。75年、京都大学理学部卒業。80年、京都大学大学院理学研究科博士後期課程退学。理学博士。日本モンキーセンター研究員、京大豊長類研究所助手などを経て、京大大学院理学研究科教授に。2014年10月に京大総長に就任。ゴリラや人類の進化などに関する著書多数。現在、日本学術会議の会長も務める。



松山大耕氏

妙心寺退蔵院 副住職

1978年京都市生まれ。2003年東京大学大学院農学生命科学研究科修了。埼玉県新座市平林寺にて3年半の修行生活を送った後、07年より退蔵院副住職。外国人に禅体験を紹介するツアーを企画。外国人記者クラブや各国大使館で講演を行うなど、日本文化の発信・交流が高く評価され、京都市の「京都観光おもてなし大使」などに任命される。世界各国で宗教の垣根を越えて活動中。



久能祐子氏

株式会社フェニクシー共同創業者 / S&R財団(米国) 理事長兼CEO / ハルシオン(米国) 創設者兼議長 / 京都大学総長学事補佐・経営管理大学院特命教授

京都大学大学院工学研究科博士課程修了。日米両国で起業し、2種類の治療薬を創薬・販売。2012年には、革新的ワクチン開発を目指すVLPセラピューティクスを共同創業し、社会起業家としては、ワシントンDCにS&R財団を設立し理事長兼CEOを務める。社会起業家を育成する事業としては、2014年にワシントンDCにハルシオン・インキュベータを、2018年には、京都に株式会社フェニクシーを共同創業。現在は、京都大学大学院特命教授も務める。



島本久美子氏

Getty Images ジャパン株式会社 代表取締役 / Getty Images Vice President

1991年神戸大学卒業後、(株)大阪ガス入社。マンチェスター大学でメディア教育の修士号を取得し、2001年に英・イメージネット(現Getty Images)入社。英・独・西の報道写真事業拡大に尽力。09年より日本法人代表。またGetty ImagesのSales VPとして日本、東南アジア、香港、台湾を担当。



竹内薫氏

サイエンス作家、YES International School 校長

1960年東京生まれ。東京大学教養学部教養学科(専攻、科学史・科学哲学)・東京大学理学部物理学科卒業。マギル大学大学院博士課程修了(専攻、高エネルギー物理学理論)。理学博士(Ph.D.)。大学院を修了後、サイエンス作家として活動。物理学の解説書や化学評論を中心に150冊あまりの著作物を発刊。2006年、「99.9%は仮説～思い込みで判断しないための考え方」(光文社新書)を出版し、40万部を超えるベストセラーとなる。

KRP地区開設30年記念シンポジウム「創発の瞬間」の全文はログミーで公開中です。



#01



#02



#03

情報提供元：ログミー株式会社

や世界をデザインしていくことが、今は自由である時代です。この写真を見ていると、女性も被写体で見られる存在から、自分やっているなにかを見せる存在になりつつあるわけですね。一人ひとりがデザイナーとして、互いに協力しあいながら生活空間を作ることが、今の時代は可能なのにもかかわらず、ICT依存・AI依存という。楽ですから。そちらのほうに偏っていくと、すごく均質で個性が感じられない世界になるのかもしれない。

人間関係を作るには、AIは役に立たない

竹内：今朝、僕はある高校で講演会をしました。それは、AI時代にどう生き残るのがいいか、という話です。そこで、いろいろと強調したのは、やはり人間は考えないといけないんだと。これまでは受験のせいで暗記学習が多かった。暗記して、それを速く計算するとか、答えを書くことはかなりやってきけれど、それはAIがやるよ。だから今後、人間は自分で考えて、判断を下して、そしてAIを使うようにしないと

いけないという話をしてきました。そういう意味では、AI時代における創発は、



AIの絡みで変わるんですか？それとも今のままやればいいのでしょうか。AIの役割と創発みたいなかたちは？

山極：1つだけ言うと、AIの役割はあると思うんです。膨大なデータを瞬時に分析して答えを出す。あるいは、よく言われているのは、たくさんの方が集まっている中で顔の識別を瞬時に行って、特定の人を探し出す。そういった検索能力はすごくある。だから、医療に使うのはとてもいいことだと思う。

ただ、人間関係を作るには、AIは役に立たないと思えます。だから、松山さんがさっきおっしゃったように直観力を使いながら、芸術的な行為をするとか、それを接着剤にして人と人がつながりあうというところ、AIを使うのは間違い。なぜならばAIはethics、倫理を持っていないからです。

AI・ロボットにはできない3つのこと

久能：「AI・ロボットにできないことは3つある」とよく言われますが、1つはパーソナリティ。個性ですよ。一人ひとりが違う。もう1つはエンパシー、共感する力。山極先生が最初におっしゃったもの。もう1つは、0から1を作る力。要はデータがないということ。データがないことには絶対に人間が勝てるんです。ですから、AIが出してくる答えは、必ずデータに基づいているということは知っておかなくてはいけないと思います。

データがないところから考える力は、アートも一緒です。今まで誰も見たことのないものを作るという意味ではゼロイチの世界です。ですから、ゼロイチのものは、まったく新しいアイデアや倫理観。これは、必ずしも自然科学だけではなくて社会科学も一緒で、宗教もその1つかもしれないと言われてます。要は、まったく前になかったものから新しく作

り上げていく力が、人間本来の力なので、若い方たちにもわかってほしいと思います。

竹内：今後AIはどんどん普及していくと思いますが、あくまで人間はクリエイティブにAIを使う側にいるべきである。

30年前に産学連携に取り組み始めていた先進性

竹内：最後にKRP地区への期待や希望、ご要望といえますか(笑)。島本さんからお願ひできますか。

島本：実は私、25年前にKRPの創発に携わってました。そういった意味で、久しぶりにKRPに来まして、まだまだ発展しているところを見て非常に喜んでます。今後の期待、ハード面の開発は、もう少ししたら完成されることになると思うのですが、ソフト面に関しては、永遠の課題だと思っています。

ハードが終わったから開発が終わったと考えずに、どうすればこのKRPが創発の拠点になるか、今日のお話の中で、非常に参考になる点がいっぱいあったと思うので、そこを期待しております。

竹内：山極先生はいかがでしょう。

山極：最近産学連携と言われて、出島外部化法人制度を作るとか、地域連携プラットフォームを作ると言われていますが、それを30年前にやろうとした試みの新しさは素晴らしいと思います。

京都大学もぜひぶん学生を育てていただきましょう。ここでデザインスクールなどやらせていただいて。今、KRPがこれから何をしていくかというときにSDGs(Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標)が大きな目標に

KRPで創発を考えるとすると、「めちゃくちゃ失敗させなアカン」思うんですね。それを「じゃあないか」とりあえずやってみなはれ」という、この雲囲気をずっと持ち続けていけば、ここが創発のセンターとしてこれからも続くんじゃないかと。

その雲囲気や失敗させることを忘れないで、今後も続けていっていただけたらと思います。

竹内：今日いろいろなキーワードが出て参りました。多様性、認知力、serendipity、見える感覚などいろんなキーワードが出てきましたが、おそらく最後の締めとしては、やはり「創発の陰に失敗あり」ということで。たくさん失敗を通じて、自分で考えて、そして創発につながるというまとめでよろしいでしょうか。パネラーのみなさま、どうもありがとうございます。(会場拍手)

ジナリティは捨てたものじゃないということ。本場にライブエンジニア、若い方たち自身も「実は大きな組織の中では気付いていなかった」とおっしゃっています。今回、非常にありがたいと思うのは、大きな組織自体もそういう人たちのことを応援しようという雲囲気になってきていることです。KRPさんもそういう企業との関係とか、アカデミアの関係とか、個人との関係をオープンマインドにやってみようというのがすばらしい。これからはますます京都におけるKRPや京都全体のエコシステムの発展のためにご尽力いただけたらありがたいと思います。

竹内：先ほど控室で、大企業の中に隠れた才能がまだあるとおっしゃっていましたが、そういう印象をお持ちですか？

久能：そうですね。やはり組織、日本の場合は、

たぶん個人と組織と社会その3つが並び立つかたちのモデルが必要だと思います。アメリカですと、個人と社会だけしか考えていませんので間に組織はないんです。日本人の方が組織に属したい気持ちは、マズローの5大欲求でいくと、3番目くらいに出てくる大きな欲求だと思っています。それをあまり否定しすぎて、アメリカ方式に「個人だけでやりなさい」というのは、もしかしたら日本に合っていないのかとも思います。

松山：さっきのAIとの絡みでいいますと、AI

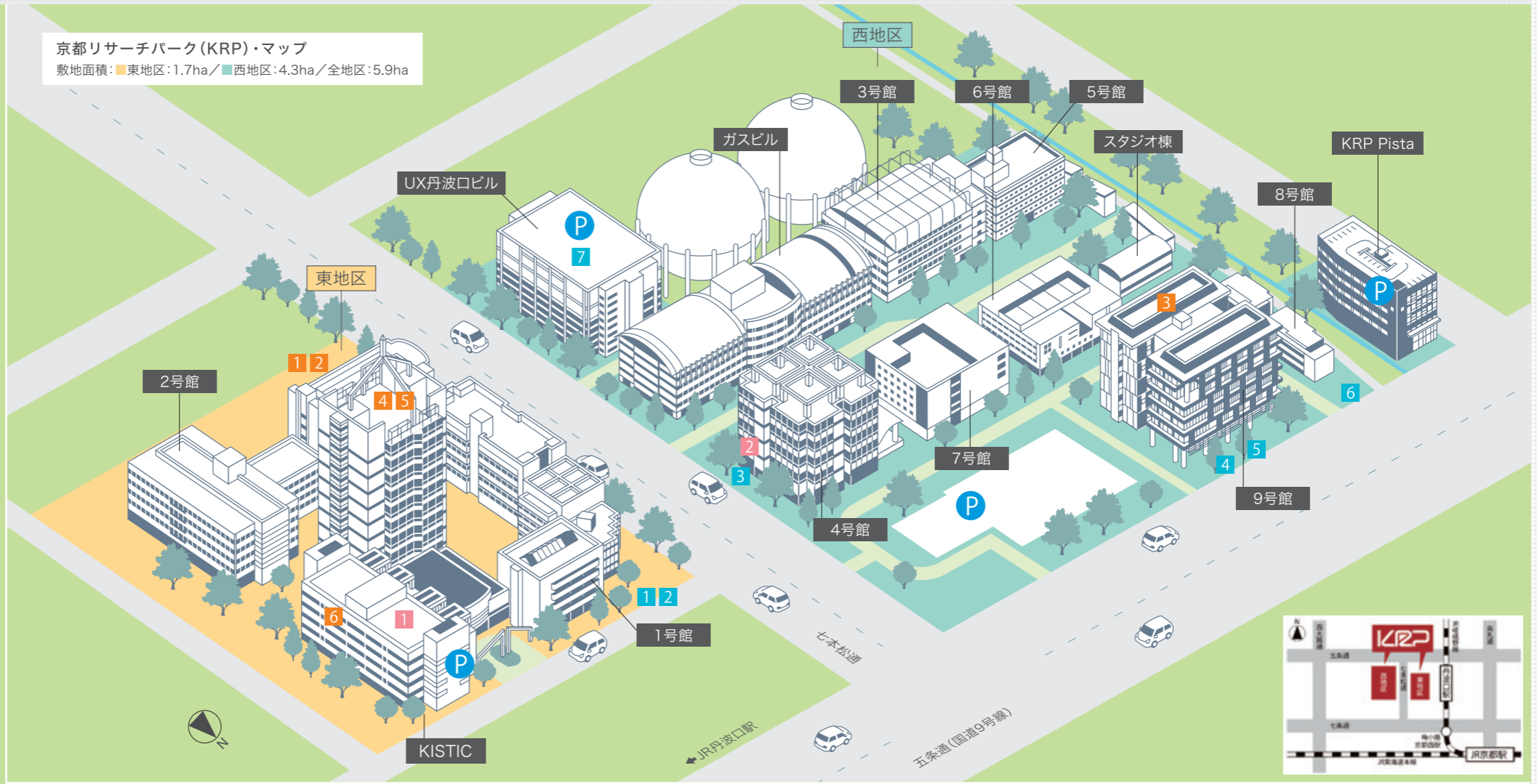
が発展して一番いけないことというか、社会にとつてつらいことは、失敗できなくなることで。いろんな企業のお話を聞いても、若手の人が失敗できないことが、成長の阻害要因になっていると思います。禅の修行は全員失敗させる仕組みになっているんです。例えば、「ご飯係になると、いきなり「明日からご飯係になれ」と言われて、薪で5升ご飯を炊くんです。みんな、そんなことやったことないでしょ。全員失敗するんです。怒られるわけです。

引き継ぎも2時間しかない。なぜかというところ、(正解を)教えてもらったら盲目的にそれしかやらなくなるからです。試行錯誤をしなくなるんです。

絶対に失敗させて、逆という試行錯誤したら、どれだけセンスのないやつでも成功できる。全員失敗させて、全員成功させる。だから禅は1000年続いているんですね。

オープン！KRP地区

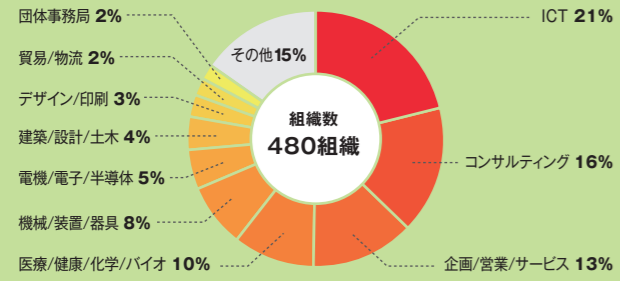
本編では、30周年を迎えたKRP地区を改めてご紹介いたします。
KRP地区は、企業と人が集い、交流することで、創発の瞬間を生み出すことに挑戦しています。
さあ、一緒に世界を変える新たな事業を創りましょう！



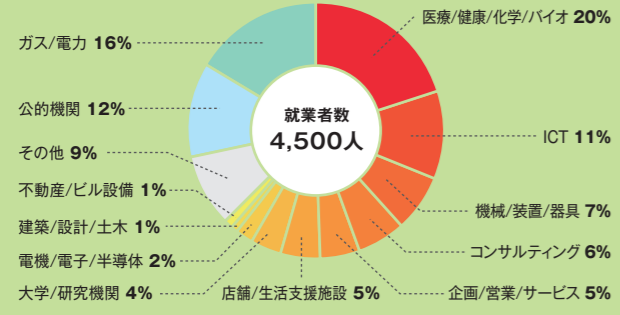
INDEX

- p13 **Part1 KRP地区に集ういろいろな顔**
Challenge! 創発に向けて挑戦する企業・組織
Support! 挑戦を支える公的機関・団体
- p19 **Part2 魅力的な交流の舞台へ**
Connect! 創発の瞬間を体感する
Relaxing! KRP地区内のおすすめスポット
- p25 **Part3 京都えきにしおもしろエリアに出かけよう**
Creative!
KRP地区周辺にも広がるイノベーションの機運

業種分類別社数割合



業種分類別就業者数割合



※2019年12月時点

オフィス数 **350+**
ラボ数 **100+**
会議施設等 **18+**

- 公的産業支援機関**
- 1 京都府産業支援センター
京都府中小企業技術センター
公益財団法人 京都産業21
 - 2 一般社団法人 京都発明協会
 - 3 地方独立行政法人 京都市産業技術研究所
 - 4 公益財団法人 京都高度技術研究所
 - 5 国立研究開発法人 科学技術振興機構
 - 6 京都バイオ計測センター
- 商業施設**
- 1 レストラン PATIO
 - 2 &café
 - 3 セブンイレブン
 - 4 スターバックス コーヒー
 - 5 平和書店TSUTAYA
 - 6 ホットドッグ/ステーキ/カフェ NICK STOCK
 - 7 フィットネスクラブ コス・パ
- 会議施設等**
- 東地区: サイエンスホール、アトリウム、AV-A~F会議室、イノベーションルーム
 - 1 たまり場@KRP
 - 西地区: バスホール、バンケットホール、Room1~6
 - 2 KRP BIZ NEXT



KRP地区開設30年記念行事

2019年10月29日に行われたKRP地区開設30年記念行事では、本誌特集の記念シンポジウムに続き、式典・交流会を行いました。式典では、各界を代表する皆様から、温かいお祝いの言葉と、KRP地区草創期の数々の実話をご披露頂きました。交流会では約250名の方がお酒を片手に開設当初の思い出話を語り合い、大盛況となりました。

創発を支える支援機関

KRP地区には京都府と京都市をはじめとする公的産業支援機関が集積し、層の厚い創業支援成長支援機能を実現しています。

研究開発を支援する試験分析、製品のデザイン開発、マーケティング、教育、研修から資金調達や経営相談まで、各機関の専門家と外部のアドバイザーがきめ細かな支援にあたります。詳細は、P15から紹介しています。ぜひご覧ください！

けの二部をご紹介しています。また、KRP地区内だけでなく、P25でご紹介するKRP地区を含む京都駅西エリアでは、梅小路京都西駅の開設やホテル10カ所のオープンなど、新たな賑わいがうまれつつあります。起業家やクリエイター、デザイナーが続々と集まっており、今後はエリアを巻き込んだおもしろい取り組みにも注目です！

KRPの取り組み

KRPは17棟のビルからなる一大ビジネス拠点です。新事業・研究開発などのイノベーションに向けた挑戦を行う場として、実に480の企業・団体、4,500人のプレイヤーが集っています。オフィス、ラボ、会議室、データセンターといった充実したハードを構築、ソフト面では多様なイベントや交流会、ワークショップ等の企画を行い、「魅力的な交流の舞台」をご提供していくことに取り組んでいます。「イノベーション」が起きる時、研究であればビジネスであれ、当初の意図やねらいを超越した、何かが生じている。そのような「創発の瞬間」を、このKRP地区で多くの方に体感いただけるよう創意工夫を重ねています。P19以降ではそうした創発が活発に生み出される仕掛けを

全国初の民間運営による都市型リサーチパーク

1980年代、大阪ガスの京都工場跡地利用プロジェクトとして、大阪ガス、京都産業界、京都府、京都市、大学が協議し、アメリカファイナデルフィア市街地の再開発として設立されたUCSC（ユニバーシティ・シティ・サイエンス・センター）をモデルにリサーチパーク構想の検討が進みました。そして1989年、全国初となる民間運営による都市型リサーチパークとして「京都リサーチパーク」が設立されました。京都府、京都市の産業支援施設が同じ敷地内にある、ワンストップで事業サポートが受けられる地区ということに、強みに、主に研究開発型の企業の誘致をする一方で、学会などコンベンションの開催、産学公連携による研究会など様々な活動に取り組むことにより新産業の創出を目指してまいりました。



KRPで活躍する企業・組織の一部をご紹介します。

医療／健康／化学／バイオ

- アルケマ(株)
- (二社)医療福祉連携支援センター
- インタクト(株)
- 公財HLA研究所
- 株LSIメディアエンス
- 株グローウ
- Ziham Imaging Japan(株)
- 株Jiksak Bioengineering
- 株Smile Innovations
- Alliance
- タンクフボヨロツバハリミテッド
- ディシユマン・カーボゲン・アムシス・ジャパン(株)
- 帝人在宅医療株
- テリックスファーマジャパン(株)
- 東和薬品株
- 株バイオオマステクノロジ
- 株ビジョンバイオ株
- 株ピュロライト(株)
- 株ファイケムジャパン(株)
- 株ファイザー(株)
- 株マリ
- 株マルホ(株)



(株)メガカリオン
iPS細胞由来の安全な血小板製剤を作製する技術を確立。献血に頼らない血小板の安定供給の実現を目指す

- (株)シューマン
- (株)積進
- 中央技研株
- (株)TMエンジニアリングサービス
- (株)ナフテック
- PDC Machines(同)
- Makers Maker(同)
- (株)ユニテック
- ワイエムシステムズ株
- (有)ワイズロード
- ワオデザイン(株)

機械／装置／器具

- 株メイベル
- 株ユーロワン分析科学研究所株
- 株ワールド機能性原料研究所
- 株ワキ製薬株
- 和田精密歯研(株)
- 株ウーウビジュアルソリューションズ株
- 株SDI
- 株オプテックスエナジー(株)
- 株Quincy(株)
- 株CORESCOPE株
- 株三共マテリアル
- 株シオガイ精機
- 株シックオプテックス株



大塚電子(株)
「光でモノを診る会社」として、健康に貢献する診断装置やナノサイズ粒子の物性分析、新素材、半導体分野の品質・膜厚計測装置など幅広く開発・製造・販売を行う

電機／電子／半導体

- RFイノベーション(株)
- RFソリューションズ株
- (株)イーエル・オカモト
- 株WOLONGモーター制御技術(株)
- 株大泉製作所
- 株オプテックスエムエフジー(株)
- 株オムロン(株)
- 株亀岡電子(株)
- (株)京産
- 株コーデンシ(株)



ナブテスコ(株)
モノを確実に「動かす、止める。」というモーションコントロールをキーワードに、強みである「コンポーネント技術」「システム技術」を活用し、独創性の高い製品開発を進める

システム開発

- 株ICSパートナーズ
- 株アルパス
- 株イーストライス(株)
- 株エスアンドエス・プラス
- 株EDUCOM
- 株MIA creations(株)
- 株Geek Guild
- 株京都エンタテインメントワークス(株)
- (有)京都情報化支援事務所
- 株ココ
- 株シティビルサービス

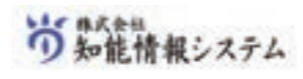


Gyrfalcon Technology Japan(株)
シリコンバレー発のベンチャー企業。低コスト、超低消費電力の大規模並列処理技術で世界をリードし、AI(人工知能)に特化したデバイスを開発

- (株)JOHANN(株)
- 京都デザインオフィス/JOHANN
- イノベーションラボ
- (株)T-Cube
- (株)トクサー
- (株)どりーむクラフト
- (株)なごみテクノロジ
- 株ナノシステム(株)
- (株)ハイシンク創研
- (株)パンフィックシステム
- 株ビシネスリアート(株)
- 株キョウキスクロスアイティ(株)
- 株フォンタージュ
- (株)DZハイパーテック



WHILL(株)
歩行困難な高齢者や障害者だけでなく、未来社会の安全便利な歩道領域の移動手段としての高機能でスタイリッシュな電動車椅子を開発・販売する



(株)知能情報システム
「知能コンピューティング」と幅広い学術分野の専門知識で、最先端の研究成果を応用したシステムや、難解な数理論論の実装、高度な専門性を要するソフトウェアの開発に対応する

- 株ウェブト
- (有)メディアプラン
- 株ヤツキ情報システム

Web制作

- 株コトモノ(株)
- 株ジャストソルト
- 株メディアプラン
- 株レプス

インターネットサービス

- 株イー・エージェンシー
- 株SOBAプロジェクト
- 株ビーサウザンド
- 株ファン・タップ
- 株マイクログラフ
- 株メディアアオース
- 株山いちは



(株)フューチャースピリッツ
サーバーホスティング事業を中心に、クラウド型フォーム作成サービスをはじめとするマーケティングソリューション事業、Webサイト制作やアプリケーション開発などのプロデュース事業を展開

デザイン／印刷

- 株アートアクション
- 株iG(株)
- 株キャンバス
- 株サイバーエージェント
- 株京都グローバルクリエイティブセンター



(株)アースサイド
青果の生産から、流通・物流、ブランドまで、幅広いステージで事業を展開するアースサイドグループ。世界中に新鮮な食を届ける、「グローバルフードインフラ」の構築を目指す

- (有)セメントプロデュースデザイン
- 株マーケティングデザインセンター/DC

展示企画／ディスプレイ

- 株アコーストコーポレーション
- 株ディワークス

コンサルティング

- 株アイビートクノ
- 株アンカーアンドビジョン
- 株イコール税理士法人ハートナイス
- 株エイシップソリューションズ株
- (二社)えがおワークラボ
- 株エタミア
- 株Essent Lab KYOTO
- F.D.フォートレス
- (有)改
- 株グローバルマーケティング
- 株アンジー(株)
- 河野特許事務所
- (同)SARU
- 株佐々木健次公認会計士事務所
- 株GCAアドバイザーズ株
- 株ジェネラルオフィス
- (二社)ジャパンオーガニックパーテイ
- 株杉浦システムコンサルティング/RC
- 株高橋佳子社会保険労務士事務所

建築／設計／土木

- (有)エスエンジニアリング
- 株エム・アイ・エンジニアリング株
- 株(株)柏原工務店
- 株(株)河本組
- 株(株)シーエープレックス
- 株新日本空調株
- 株Snaco design
- 株(株)葉月建築事務所
- 株(株)ベスバ
- 株リフォシー(株)
- 株リプロハウス

企画／営業／サービス

- 株アルプス技研
- (有)エイチアイトワール
- 株ASM Technologies株
- 株オムロン関西制御機器(株)
- 株京都製作センター(株)
- 株クラステイ
- (有)コムス
- (有)セクレタリアット
- 株(株)日新ドレスト(株)
- 株(株)日本たばこ産業株
- 株(株)NOSWEAT
- 株(株)プロコムインターナショナル
- 株(株)モハイク(株)

貿易／物流

- 株Pharma M&S eラボ
- 株(株)テクノリンクス
- 株(株)インターナショナル
- 株(株)バワフルサポート
- 株(株)beyond Silicon Valley株
- 株(株)POGLI
- 株(株)マナーコンシェル
- 株(株)未来へつなぐ経営相談所
- 株(株)Maison de M
- 株(株)森智幸公認会計士税理士事務所
- 株(株)リベロ

通信インフラ

- 株(株)ONEメディアサービス
- 株(株)スマートテクノロジーズ
- 株(株)ソナール

店舗／生活支援施設

- あさみ歯科クリニック、コムスバ、スターバックスコーヒー、ゼンインレフン、ディリハ京都 NICK STOCK、平和書店TSUTAYA、レストランパティオ

研究機関

- 株(株)UG Japan Lab(株)
- 株(株)次世代レーザープロセス技術研究組合
- 株(株)KPR

不動産／ビル設備

- 株(株)大阪ガス都市開発(株)
- 株(株)大阪ガスファシリティーズ
- 株(株)東光商事(株)
- 株(株)ホテルテハロップメント
- 株(株)ホームスマビューマーケティング(株)

ガス／電力

- 株(株)大阪ガス株

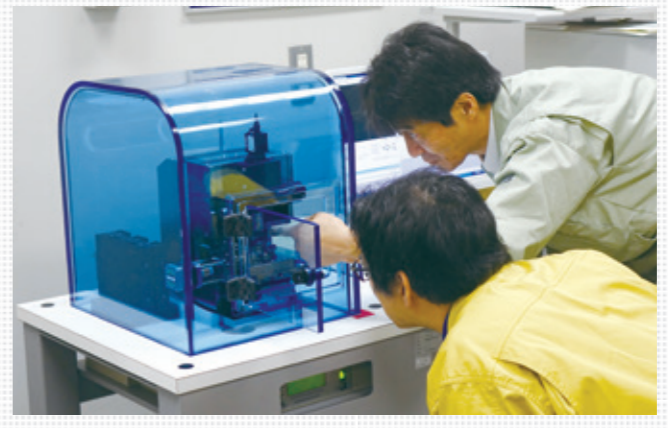
その他



(株)ラック
サイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーとして、先進のセキュリティ対策技術を核としたITトータルソリューションを提供。ビジネスの「安心」を一貫してサポートする

- 株(株)塩梅
- 株(株)エアクラウド
- 株(株)大阪ガスカスタマーリレーションズ株
- 株(株)カセットミュージアム
- 株(株)共進産業株
- 株(株)行政書士ヒロ中村法律事務所
- 株(株)Quon Technology(株)
- 株(株)クックドフン
- 株(株)黒田真雅法律事務所
- 株(株)コムフレンド
- 株(株)コレクシード
- (有)コンフォート
- 株(株)サティファイケーション/ヨーロッパ
- 株(株)ジャパン株
- 株(株)ジェイエヌ・コーポレーション株
- 株(株)紫葵法律事務所
- 株(株)紅茶専門店京都セレクトショップ
- 株(株)第1生命保険株
- 株(株)第2生命保険株
- 株(株)Monozukuri Ventures
- 株(株)辻丸国際特許事務所
- 株(株)スフレッド
- 株(株)日新クリエイト株
- 株(株)日本コンボジット工業
- 株(株)宝明電気
- 株(株)マルホ発條工業株
- 株(株)リロクラフ
- 株(株)ロイヤルブルーティージャパン(株)

京都府中小企業技術センター



「技術のかりつけ医のような存在として、ものづくりを支えていきたい」と、新製品開発や品質管理、技術改善、研究開発など企業が抱える技術に関するさまざまな悩みや課題についてアドバイスや情報提供を行うのが事業のひとつ。また、企業から依頼を受けて、工業材料や製品、部品などの試験や分析を行います。中小企業では高価で保有できない機器の開放（貸付）も行っていきます。

府内企業との共同開発技術が「チョコレート」の新たな文化創造に

これまでも、食べることで健康が増進する機能性食品のうち、ストレス低減作用等があるとされるGABA(γ-アミノ酪酸)を簡易かつ大量につくるプロセスを府内の食品メーカーとともに開発し、量産を可能にしました。それが、大手食品メーカーのチョコレートに使われ、仕事の合間に食べるというコンセプトで販売されてヒット商品になっています。センターの研究開発が「オリーブチョコレート」という新たな文化をつくったと言えるかも知れません。

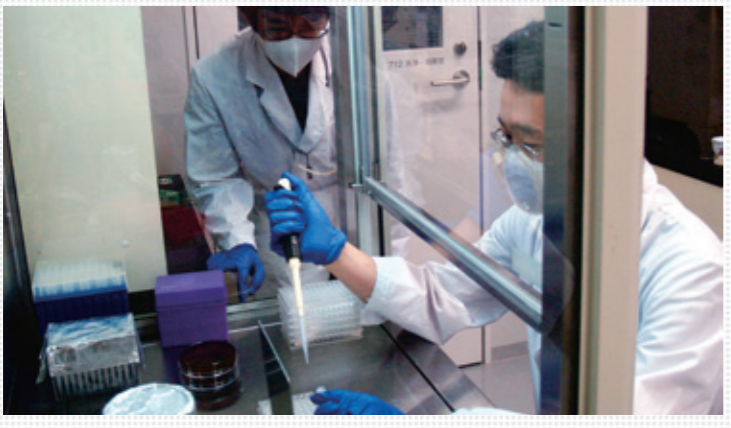
京都府中小企業技術センター
代表窓口 TEL:075-315-2811 [技術相談]
基盤技術課 TEL:075-315-8633 (機械設計・加工、材料・機能評価、化学・環境)
応用技術課 TEL:075-315-8634 (電気・電子、食品・バイオ、表面・微細加工、デザイン)
https://www.kptc.jp/

中小企業の技術課題に特化して支援する「京都府中小企業技術センター」。機械設計、化学、電気、食品など、さまざまなジャンルを専門とする技術職員が連携し、幅広い技術課題に対応しています。

京都市産業技術研究所

企業のものづくりを様々な支援する頼りになる専門家集団

ものづくりに取り組む京都市内の中小企業等を、研究開発や製造工程に係る課題解決等、技術面から支援する「京都市産業技術研究所」。1916年設立の「京都市染織試験場」と1920年設立の「京都市工業研究所」を前身として、2003年に「京都市産業技術研究所」として統合、その後、2014年に地方独立行政法人に移行しました。



技術支援にあたっては、高分子系、金属系、窯業系、製織システム、バイオ系、表面処理、デザイン、色染化学の8つのチームに所属する研究員が、伝統産業から先進産業までの幅広い分野からフォローします。また、試験分析や各種機器の貸出しに加え、技術者向け研修であるO・R・T事業、伝統産業の担い手育成や地元企業との研究会活動も行っています。

伝統と先進が結び付き開花

産技研での研究開発は、大阪市立大学と共同開発した清酒酵母「京の華」を用いた吟醸純米酒「月の桂」や、使いやすさにこだわった漆塗りの介護スプーン、植物由来の素材であるセルロースナノファイバーを活用した新たな京焼清水焼の試作開発など、多くの成果を挙げています。

また、産技研が技術支援等を行い、製品化に至った取組のうち、知恵産業の推進に大きく寄与した企業等を「知恵創出・目の輝き・企業」に認定し、取組のPR等の支援をしています。

地方独立行政法人
京都市産業技術研究所
※月～金曜日
代表番号 TEL:075-326-6100
(研究室・知恵産業融合センターにおつなぎします)
【総合相談窓口】
TEL:075-326-6133

京都産業21

明日へのチャレンジを応援する中小企業の経営相談窓口

中小企業の経営に関するすべての相談に対応する「公益財団法人京都産業21」。創業や経営革新、新事業創出をはじめ、人材の確保、育成、市場開拓、事業継承など年間約1万5千件の多岐にわたる相談に対応しています。2011年の設立以来、重きを置くのは、基本理念でもある「中小企業の活動に真に役立つ質の高いサービスを提供すること、京都産業の発展に貢献すること。相談企業との密なコミュニケーションを大切に、ともに歩むことを志してきました。



公益財団法人京都産業21
【総合相談窓口】
お客様相談室 TEL:075-315-8660
【IoT・AIビジネス相談窓口】
【ライフサイエンス関連相談窓口】
新産業推進部 TEL:075-315-8677
【下請かけこみ寺】
フリーダイヤル:0120-418-618

取引あつせんや専門家の紹介、補助金制度など多面的な支援を

新規取引先を開拓したい企業には、財団の持つ企業ネットワーク等を活用したビジネスパートナーの紹介や、財団が行う「京都ビジネス交流フェア」「近畿四国合同広域商談会」あるいは各種の展示会・商談会への出展支援を行い、マッチングを支援。その後の伴走支援も行います。そうしたなかから、国内外に販路をもつ大企業に技術や企画を認められ、コラボ商品につながった実績も生まれています。

IoT・AIライフサイエンスや事業継承、経営革新をはじめとした様々な経営課題に対して、各分野のコーディネータをはじめ専門家集団が親身な伴走支援を行うとともに、相談会やセミナー等を開催。新規性のある事業等には、京都府の補助金制度により支援も行っています。

京都高度技術研究所

大学とのマッチングで新事業をサポート

クシヨニアプリを今年リリースした「株バイオーム」などがあります。また、経営改革に取り組み中小企業を対象とする「オスカー認定制度」では、認定企業は200に及び、技術系のみならず伝統工芸や書籍販売、食品製造卸など、幅広いジャンルの企業を認定、支援しています。

京都大学を中心とした研究機関が持つシーズ(新しい技術・材料など)と企業のニーズをマッチングさせ、新たな産業の振興や創出をサポート。半導体分野で画期的な成果をあげたスーパークラスター事業も、同財団が関わった事業のひとつです。また、持続可能な社会の構築に貢献する企業を「これからの1000年を紡ぐ企業」として応援する「京都市ソーシャライベリション研究所」を設立。先見性ある事業の発掘にも取り組んでいます。

公益財団法人京都高度技術研究所
総務部 TEL:075-315-3625(代)
・京都市ベンチャー企業目利き委員会事務局
・オスカー認定制度事務局
・競争的資金管理法人事務局
・海外展開支援・相談事務局
・イノベーション創出コミュニティ事務局
・ビジネスデザインスクール事務局
など相談内容ごとに(月～金曜日、祝日を除く)相談受付をしています。

京セラ、日本電産に続け！
京都発のベンチャーを全力支援

インターネット黎明期の1988年、中小企業を技術面からサポートしよう、京都府、京都市、地元産業界が共同で設立。モノづくり系をはじめ、医療環境分野まで幅広い企業の支援事業を手掛けます。

有望なベンチャー企業発掘のため、市とともに立ち上げた「京都市ベンチャー企業目利き委員会」では、140を超える事業を「Aランク認定」。認定企業リストには「はてなダイアリー」で知られる「株はてな」や、いきものコレ

京都バイオ計測センター



多様なバイオ計測に対応する最先端機器のオープンラボ

「京都バイオ計測センター」は、京都府、京都市、京都大学、京都商工会議所の共同申請により、独立行政法人科学技術振興機構（JST）地域産学官共同研究拠点整備事業に採択され、高度研究機器を活用し2011年に開所。

京都バイオ計測センター

各種お問い合わせ先
・事務局 TEL:075-326-6101
MAIL: kist-bic@tc-kyoto.or.jp
・企業や大学等を対象とした分析技術や製品開発技術の講習会を開催（年13回程度）
※センター内の高度計測・分析機器を用いた実習もあり。

講習会で研究者の育成 共同研究での成果も多数

共同研究では、「リアルタイムPCR」の米麹飲料の開発、「紫外線によるDNAの損傷を測定できるキットの開発」など数々の成果を挙げてきました。「京都バイオ計測センター」は、これからもインベーションの創出を推進し、科学技術による地域活性化を図ります。

- 貸付料金例
- ・液体クロマトグラフ精製装置 [AKTApurifier 10S] 99,000円/時間
- ・LC/MS/MS システム [LCMS-8045] 3,090,000円/時間
- ・大規模タンパク質精製装置 [AKTAplto] 1,420,000円/時間

きるオープンラボは、多様な機材が揃っているだけでなく、企業等の利用者としては大学や公的機関からの支援も受けられる便利なサービス。初めて利用する機器の操作に迷うことがあっても、経験豊富なセンターの技術指導員によるサポートがあり安心です。

科学技術振興機構

産学連携で日本の未来を変えるマッチングの専門人材

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）は、国から示される目標に基づき、科学技術に関する基礎研究、基盤的研究開発、新技術の企業化支援、科学技術情報の流通、また近年では国際共同研究の推進や次世代人材の育成など、科学技術の振興と社会的課題の解決のために、さまざまな事業を総合的に推進しています。

国立研究開発法人 科学技術振興機構

お問い合わせ先:
(JST)京都事務所
マッチングプランナー長岡
TEL:090-1996-0920

JST産学連携事業

業においては、全国5拠点を「マッチングプランナー」を配置しています。実用化にあたって企業が有する技術的課題に関する各種相談や大学等とのマッチング、公募申請の助言など、地域の窓口として運営されています。

世界トップレベルの研究開発が次々に成果をあげる

ノーベル賞を受賞した京都大学「iPS細胞研究所」のプロジェクトもJSTが支援を行ってきた研究のひとつです。ほかにも、バケツ一杯の海水で生息する海洋生物の量や種類を高精度に分析する龍谷大学の研究、大阪大学のユニークなロボットによる人間との関係性の研究など、世界トップレベルの研究開発に携わってました。

Japan Science and Technology Agency



- ・[A-STEP] 大学等の知を活用して新規事業や製品の開発をする、技術課題を解決したいなどの相談窓口を設けています。
<https://www.jst.go.jp/a-step/consul/index.html>
- ・オンラインジャーナル「産学官連携ジャーナル」発行（毎月15日）無料
<https://sangakukan.jst.go.jp/journal/>
- ・「産から学へのプレゼンテーション」の開催（年6回程度）
<https://www.jst.go.jp/tt/sanpure/>
- ・「イノベーション・ジャパン-大学見本市」を年1回開催
<https://www.jst.go.jp/tt/fair/>
- ・「新技術説明会」(聴講無料)
<https://shingi.jst.go.jp/>

京都発明協会

知財の悩みに応える 中小企業の味方

一般社団法人京都発明協会の源は、明治34年設立の「京都発明奨励会」。その後一世紀以上にわたり、発明の奨励、青少年などの創造性開発育成、および知的財産権制度の普及や啓発に邁進し、科学技術の振興を支援することで、地域経済発展への寄与を目指して活動しています。

府内の中小ベンチャー企業等が抱える、知財に関する様々な事柄が寄せられます。

一般社団法人京都発明協会

京都府知的財産総合サポートセンター
受付 TEL:075-315-8686

INPIT京都府知財総合支援窓口
受付 TEL:075-326-0066



黒谷和紙のブランド化が地域活性につながった

黒谷和紙協同組合から「黒谷和紙」を商標登録して偽物防止をしたと相談があった際は、地域団体商標として登録し、貴重な地域資産のブランド化を提案。当組合と一体となって取り組み、地域団体商標「黒谷和紙」だけでなく「黒谷緑布」の商標登録も実現しブランド化に成功しました。ブランドの知名度を高めたことで、若手の採用や育成にもつながりました。こういった各種「無料相談窓口」による支援を行っています。

海外ネットワーク World network

海外サイエンスパークとのつながり

世界各国のリサーチパークが加盟するIASP、ASPAMメンバーとして、海外のリサーチパークとのネットワークを形成し、国境を越えた企業同士のコラボレーションに取り組んでいます。



IASPは、全世界のリサーチパークを束ねる国際組織です。欧州を中心として世界中で約70カ国、約350機関等がメンバーとなっています。



ASPAMは、アジアのリサーチパークを束ねる国際組織です。アジア地域の16カ国、約129機関等がメンバーとなっています。

海外サイエンスパークとの連携

ご入居者さまの海外進出を支援するため、海外サイエンスパーク・イノベーション施設3カ所と施設の相互利用提携をしています。また、イスラエルのテクノロジパークとは企業マッチングに関する業務協力覚書を締結しています。

業務協力覚書を締結

施設の相互利用提携



2019年3月 イスラエル ベルシェバ Gav-Yam Negev Advanced Technologies Park



2018年8月 米国 ボストン Cambridge Innovation Center



2017年8月 新竹サイエンスパーク Hsinchu Science Park



2019年1月 台湾 中部 台中サイエンスパーク Central Taiwan Science Park



01

HVC KYOTO

ヘルスケアベンチャーの登竜門

Healthcare Venture Conference
KYOTO (HVC KYOTO) は、ヘルスケア分野でグローバル市場への飛躍を目指す革新的なベンチャーを支援する、英語ビッチイベントです。ヘルスケア分野の最先端企業が集積する京都で2016年に発足以来、ベンチャー・研究者と大企業・ベンチャーキャピタル(VC)がライフサイエンスの未来を語り議論を深める場として、日本貿易振興機構・京都府・京都市・京都大学・KRPのオール京都で毎夏開催しています。

HVC KYOTOでは、再生医療、創薬、診断プラットフォーム技術、予防、デジタルヘルスなど、20件を超える多様な革新的な技術を持つベンチャー・研究者による英語ビッチを1日で聞くことができるほか、グローバル企業・キャピタリストなど世界的なプロフェッショナルによる基調講演をはじめ、公開メンタリング、パートナー企業と登壇者の個別面談会、併設展、招待制交流会等様々なプログラムをご用意。2019年度は約250名の方にご参加いただきました。これまでの登壇者(延べ62件)が、資金調達は勿論、事業提携や顕彰受賞など次々と実績を上げており、「良質な案件に出会える」とパートナー企業からも好評です。

今回は2020年7月2日(木)開催予定。
登壇者&パートナー企業募集中!

問い合わせ先
新事業開発部 中根
TEL:075-315-6040
MAIL:hvckyoto@krp.co.jp



02

miyako起業部@KRP

本気で起業したい人 集まれ!!

KRPは、本気で起業をしたい人のために「miyako起業部@KRP」を設立。2019年6月に部員を募集し、8月にキックオフしました。サッカー部がサッカーするのと同じく、起業部はその名の通り「起業をします。チームでビジネスプランを作成し、国内外のコンテストに応募しながら、ビジネスプランをブラッシュアップし、起業に向けて実践的な活動を行います。」

miyako起業部@KRPは京都の学生や社会人を中心に、総勢約60名、上は50代から下は高校二年生まで幅広い年齢層の方々が所属しています。部員同士のチームビルディングから、ビジネスプランのブラッシュアップ、外部ビッチトレーニングなど、部活という「練習」を繰り返して、外部での「試合(ビッチ)」を戦い、最終的に「プロ(起業)」になるということを目指しています。顧問には、九州大学熊野准教授をお招きし当起業部の指導にあたるほか、熊野氏とKRPの持つ、国内外の一流の起業家やベンチャーキャピタリスト、大学機関等のネットワークをも活用し、起業支援を行っています。

試行錯誤の繰り返し初年度ですが、現在8チームに分かれ、対外ビッチの出場も開始しています。また、2020年3月頃からは新規部員の募集も開始予定です。



問い合わせ先
インキュベーション サイン 中根
TEL:075-315-6040
MAIL:miyako-kiyobu@krp.co.jp

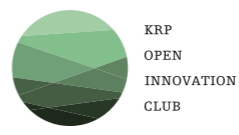


03

Move On

企業×学生の 共創プログラム

KRPは、2019年5月、異業種との出会い・連携によって新しいビジネスの創造を目指す法人向け有償会員制度「KRP OPEN INNOVATION CLUB」を創設。
正会員に対し、国内外のスタートアップ企業や若手の大学教員等、さまざまな方との出会いと共創空間を提供しています。



KRP OPEN INNOVATION CLUBは、メンバーの1つである「Move On」は、正会員が学生と一緒に新たなビジネスモデルの構築を行うアイデアソン。2019年9月に実施した第1弾では、正会員2社（大日本印刷株式会社さま・D&Bグループ大阪ガス都市開発株式会社さま）と11名の学生（京都大学ほか5大学・高校）とで、「2025年 社会課題を解決する生活空間」をテーマに開催。経験豊富なメンター陣のアドバイスを受けながら、学生は正会員2社のリソースを掛け合わせたビジネスモデルを作り上げていきました。目指すは、現役学生を巻き込んだ正会員による新規事業の創出。第2弾は2020年2月開催予定です。

問い合わせ先
イノベーションデザイン部 松浦杉山
TEL:075-315-8491
MAIL:innovation@krp.co.jp



04

つながりナイト KRPナイト

つながろう、楽しもう

起業家や大学生、クリエイターなど若者が集い、カジュアルに交流できる場所として、2018年12月にオープンし、110イベント3,000人以上を動員している。
『たまり場@KRP』(KRP東地区KSTICKIN)。
そんな『たまり場@KRP』にて、2019年10月より水曜の夜に「レギュラーイベント」つながらナイト」「KRPナイト」を開催しています。

30年前、34社からスタートしたKRP地区は、480社4,500人へと規模が拡大。4,500人の活動する「まち」のコミュニティ形成にむけたレギュラーイベントとして、「つながりナイト」「KRPナイト」をスタートしました。ご入居者さま限定イベントの「つながりナイト」は、IT、製造、製薬、デザイン、サービス業など、KRP地区に入居するさまざまな業種の方が仕事終わりに集い、お酒を片手に、「たべる」「うごく」等のテーマにあわせたゆるやかなトークと交流を楽しむことにつながりをつくる場(場)となることを目指しています。各回30名程度からりと参加。このイベントでの出会いがきっかけで実際に商談がすすんでいます!といった嬉しい声も届くようになりました。『たまり場@KRP』はご入居者さまに限定せず、ごなたでも参加可能なトークイベントと交流会。さまざまな分野で活躍中のゲストを迎え、世の中の新しい取り組みや動き、イノベーションの気づき等を得る機会として開催しています。同イベントの登壇者×参加者との出会いから、新しい取り組みアイデアが生まれることを願い、企画・運営を行っています。



問い合わせ先
イノベーションデザイン部
田島つながりナイト担当 井上麗(KRPナイト担当)
TEL:075-315-8491
MAIL:sks-info@krp.co.jp

魅力的な交流の舞台へ

Relaxing!

KRP地区内のおすすめスポット

屋上菜園

KRP地区には入居企業が参加できるサークル活動があり、私は9号館屋上にある菜園で野菜を育てる菜園サークルに入っています。京都を一望できる屋上から見える夕日は菜園サークルに入った人の特権です。サークル活動で出会った他の入居企業の方との交流やハトよけで鷹匠が鷹を放つ様子など、KRP地区に二歩踏み込むと、入る前には見えなかった風景があります。



マルホ株式会社 京都R&Dセンター
平野尚茂さん

昇り庭

秋ごろになると9号館吹き抜けに赤とんぼがたくさん飛んでいるのをご存じですか？朝一番や気分転換したいときは、吹き抜けから入ってくる空気から季節を感じるのが私の日課になっています。京都らしいデザインの9号館の共用部は開放感があって、ミーティングにはぴったりです！



株式会社フューチャースピリッツ
宮田有紗さん

KRP BIZ NEXT
ラウンジ(会員制)

週に2〜3回ミーティングで利用しています。テーブルと椅子の配置がとても考えられていて、その時の気分や打合せ相手によって4人テーブルやゆったりしたソファなど場所を選べるところが気に入っています。一般的に「か所に大人数が集まるとざわざわして落ち着きませんが、ラウンジは高級感や落ち着いた雰囲気があり、お客様にも好評です。



beyond Silicon Valley株式会社
上田恵子さん



コ・ス・パ

トレーニングマシンだけでなく、ヨガなどのスタジオプログラムやプールもあり、その日の気分に合わせて運動ができます。職場近くなので続きますね。トレーニングの後はお風呂やサウナに入って二日の疲れを癒してリフレッシュ。レンタルウェアなどを使えば手ぶらでいけるのも魅力の一つです！



京都リサーチパーク株式会社
渡辺洋介さん

たまり場@KRP

たまり場@KRP(KSTIC2階)は日中は予約も必要ないオープンスペースなので、打ち合わせスペースとして気軽に使えます。静かすぎず騒がしくもなく、照明も少し暗めなので落ち着きます。たまり場に設置されているコーヒーマーカーがKRP地区の中で一番おいしいんじゃないかな。たまり場で定期的に夕方に開催されているイベントにも同僚を誘って参加したいと思っています。



WOLONG モーター制御技術株式会社
楠木丈晴さん

掘りごたつ

KSTIC5階にある掘りごたつという和室風の共用部がおすすめです。共用部が多いKRP地区ですが、こんな所は他にないです！とても人気の場所で、女子会が開かれてることもありますよ。KRP地区には気軽に休憩できるスペースがあったり、飲食店もある。業務に関連のあるセミナーも1号館の会議室で開催されていたりするので、イベント会場まで歩いて行ける。いろんなことがKRP地区内で完結するのは便利です。



東和薬品株式会社
宮崎奏さん

京都えきにし おもしろエリアに出かけよう

Creative!

KRP地区周辺にも広がる
イノベーションの機運



KAGANHOTEL ー 河岸ホテル

若手現代アーティストと つながれる滞在型複合施設

KRP地区に程近い京都市中央卸売市場の一角に、2019年秋、現代アートがテーマの滞在型複合施設が誕生し、話題を集めています。その名も「KAGAN HOTEL」。若手作家向けに制作スタジオ・ギャラリー付き住居を用意し、国内外の優秀な作家を京都に誘致しようという趣旨で造られた施設です。

青果卸会社の元社員寮兼倉庫をリノベーションしたレトロな建物は、入口が作品搬出・搬入も可能な大きさで、地下に24時間使えるスタジオとギャラリーがあるなど、創作に適した環境なのです。「市場は物流のエリアなので、トラックで大きなものも運び込みやすく、現代アートの制作や展示にぴったりです。」と、企画運営を担当する株式会社めいの扇沢友樹さん。現在は、選ばれた7名の作家が入居し、制作活動を行っているそう。

施設内は作家が住むシェアハウスのほか、入居作家の作品を選んで客室に飾れる「プレミアムホテル」一般の方でも気軽に泊まれる「個室ホテル」、低価格で泊まれる「ファミリー併設の大部屋」「ドミトリー」の3フロアのホテルに、カフェや立ち飲みスペースも整備。入居作家もスタッフとして働いていて、ここに泊まれば彼らと交流することも可能です。ドミトリーは貸切も行えるので、大人数での研修などさまざまなシーンで活用してもらえたらと、扇沢さん。音楽やファッションとのコラボイベントも計画中ということで、今後の展開が楽しみです。



Photo by : Atsushi Shiotani

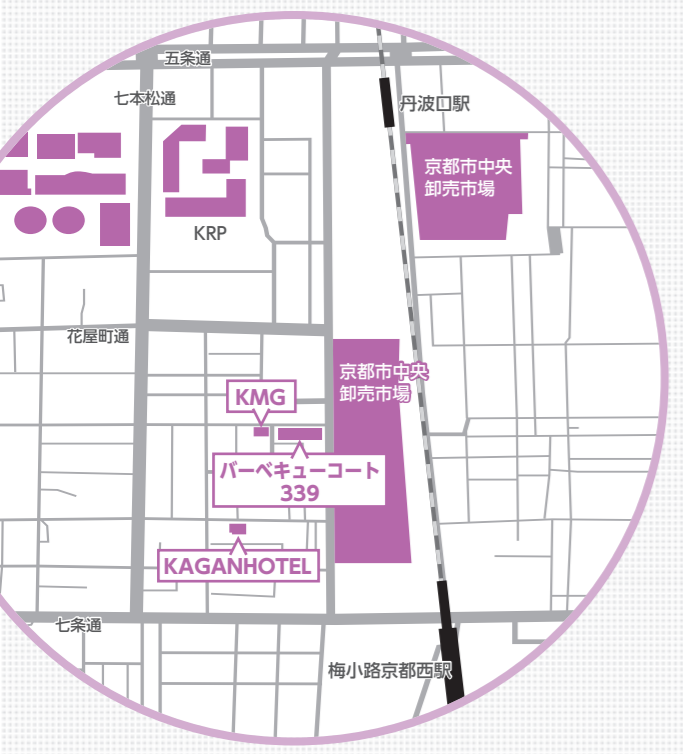
Photo by : Atsushi Shiotani



株式会社めい
扇沢友樹さん
京都市下京区朱雀宝蔵町99
<https://kaganhotel.com/>

Kyoto Station West Area

京都えきにし 周辺マップ



バーベキューコート 339

京都市内最大級の バーベキュー場!

京都市中央卸売市場横、冷凍倉庫跡に全天候型のBBQスポットがあります。必要な機材は全て揃っているので、好きな食材を持ち寄って気軽にBBQを楽しむことができます。BBQエリアの隣には、2019年12月9日にカフェスタイルのシェアオフィス「Madogawa Cafe 339」がオープン。市場場外がさらに賑やかになりそうです。



バーベキューコート339
支配人 杉本孝之さん
京都市下京区朱雀宝蔵町74
TEL:0120-478-339



株式会社Monozukuri Ventures
代表 牧野成将さん
「KYOTO MAKERS GARAGE」
京都市下京区朱雀宝蔵町73-1
ライトワンビル1F
TEL:075-205-5319
営業時間 10:00~19:00
休業日 木曜日/金曜日

ものづくりベンチャーの拠点となる京都のブルックリンのような地区に「KYOTO MAKERS GARAGE」(以下KMG)の代表牧野さんが京都市と一緒にもつくりベンチャーの支援事業をする際、重要視したのは場所でした。京都リサーチパーク(株)から京都市中央卸売市場エリアを提案された時、造船所跡地の倉庫にアーティストが入り、ベンチャー企業が発展していったブルックリンのような魅力を感じたそう。もつと気軽にものづくりができる場所を提供したかった牧野さんは、京都のものづくりベンチャーの拠点を目標として、2017年に空き倉庫をリノベーションし、機器やものづくりのツールをリーズナブルに利用できるKMGを開業。レーザーカッター

1時間1,000円、3Dプリンターも500円で利用でき、スタッフに手伝ってもらえるのも魅力です。機械の使い方を教えるワークショップの開催や、人と人が交流できる共有オフィスも提供。試作品づくりのサポートやものづくりの人材育成もスタート。「企業だけでなく、一般の個人、学生にもものづくりを体験してもらい、ハードウェアのハードルを下げ、誰もがものづくりにチャレンジできる環境を作りたい」と牧野さん。今、世界中から、毎月約200人がKMGを訪れている。今後は、ものづくりにフォーカスした世界初のスタートアップスタジオを立ち上げるのが目標だそうです。企業480社4,500人がいるKRP地区近隣ゆえの可能性をいかし、京都市中、世界中から人々が集まってこれらものづくり戦略拠点を狙います。

Newcomers



KRPエリアに入居された
新しい企業様のご紹介です

KRP BIZ NEXT



Quiny App 単純作業の動画を送るだけ、 簡単にロボット化・自動化診断

労働集約型の肉体労働、特に単純作業の人手不足に悩む企業に対して、最適なロボットや自動機を提案するサービスです。具体的には、ロボットに依頼したい単純作業を動画で撮影し、弊社ウェブサーバーへ送信することで、その単純作業に最適なロボット構成と見積りを概ね2週間以内に返信するサービスを提供しています。また、ロボットを供給するシステムインテグレーターともネットワークを構築しており、お客様に対してスピーディーに対応しています。

Quiny株式会社

代表取締役 村中 伸滋
TEL: 075-600-2916 FAX: 075-320-3531
URL: <https://quiny.co.jp/> MAIL: info@quiny.co.jp
業種: その他(ロボット導入コンサルティング)



Quiny (株) webサイト

KRP BIZ NEXT



日本とシリコンバレーはもっと近くなる

beyond Silicon Valleyでは、500 Startups USAのメンターJames Levine氏をはじめとしてシリコンバレーのエキスパート(Yoon Chung氏、Kenneth Dwyer氏、Babak Behzad氏など)と共に日本企業のイノベーションのサポートを行っています。イノベーションプロジェクト、アジャイル開発、スクラムコーチング、スタートアップ・VC支援、シリコンバレー進出、シリコンバレー社風の適用、M&Aなどシリコンバレーに関する事でしたら0から100まで包括的なサポートを行っております。シリコンバレーのエキスパートと共に日本のIT発展とグローバル化に貢献することが弊社のミッションです。

beyond Silicon Valley株式会社

CEO 上田 恵子
TEL: 075-315-9422
URL: <http://siliconvalley.co.jp> MAIL: info@siliconvalley.co.jp
業種: コンサルティング



編集
後記

<地域ブランド> 本号はKRP地区開設30年を記念し、KRP初のOFFICIAL BOOKとして編集しました。皆様のご支援のお陰をもちましてKRP地区は「街」になりました。

その街の機能、多様な顔ぶれ、また周辺の地域の盛り上がりまでご紹介しています。「創発の瞬間」が多様な顔ぶれの中でより多く見られるよう、魅力的な交流の舞台をKRP地区を含む地域全体でご提供して行きたいと思っております。そんな新たな「地域ブランド」にご期待ください。(足立)

環境配慮へのご協力をお願い

京都リサーチパーク(株)では、Daigasグループとして大阪ガスの環境マネジメントシステム(OGEMS)を2019年4月より導入し、環境への影響を低減させる活動を推進しています。環境改善活動の趣旨をご理解いただき、地域及び地球環境との調和の実現に向けて、省エネ、節水、廃棄物の分別・削減等に、皆様のご配慮とご協力をお願いいたします。



●OGEMS について詳しくはコチラ

<http://www.osakagas.co.jp/company/csr/charter02/ecology.html>



KRP PRESS Vol.159-2020.02 www.krp.co.jp/pub/ バックナンバーはこちらでご覧いただけます ▶

○編集・発行/京都リサーチパーク株式会社 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階) TEL: (075) 315-8476 FAX: (075) 322-5348
○編集長/足立 毅 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷/株式会社情通レゾナンス ○配送管理/有限会社セクレタリアット

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
krppress@krp.co.jpへ

配送 ①〒、住所 ②団体名 ③部署名 ④お名前 ⑤TEL/FAX ⑥メールアドレス ⑦「配送希望」
停止 ⑧ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨「配送停止希望」 変更 ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

